

第4回 北部地区学校再編検討委員会 議事録

<u>日 時</u>	令和6年9月17日(火)
<u>場 所</u>	北部多目的センター
<u>参加者</u>	27名 委員 11名（学識経験者1名、保護者代表4名、地域代表3名、校長3名） 事務局 4名（教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名） 傍聴者 12名

会議内容

議長より本日の議事内容の説明があり、事務局への質問や意見交換を行った。

1 「子育て世代アンケート結果」について

- ・子育て世代アンケートは、対象を小学生以下の子どもがいる世帯とし、7月10日から8月4日の間に実施した。回収は284世帯のうち218世帯、回収率は76.8%。
- ・望ましいと考える再編案を、A案、B案、代替案の3つの中から選択する内容で実施した。A案は「東小と知波田小を統合し、湖西中は岡崎中に統合する案」、B案は「小中一体型として、東小、知波田小、湖西中を統合する案」。代替案は、「東小と知波田小を岡崎小に統合する案」、「東小は鷺津小に、知波田小は岡崎小に統合する案」を例示した。
- ・望ましいと考える再編案に対する回答は、A案が102人（46.8%）、B案が92人（42.2%）と、A案とB案の差は非常に僅差だった。代替案は24人（11%）という結果だった。
- ・A案を選択した理由で、圧倒的に多かったのが「多くの人との関わり・活動の幅が広がる」という意見。また、「部活動の選択肢が多い」、「クラス替えが可能」という意見も多く、いずれも多人数での教育環境を期待する意見だった。
- ・B案を選択した理由は、「通学距離が短い」、「家から近いから」という理由が最も多く、「A案では通学路の安全面に不安がある」、「小規模校・少人数のほうが良い」という意見も多くみられた。
- ・学校再編に関する意見で多かったのは、「早く進めてほしい」という意見だった。また、「安全な通学路を整備してほしい」、「スクールバスの詳細を知りたい」という意見も多かった。その他には、「受験時の生徒に対する配慮をしてもらいたい」、「どちらの再編案になっても子どものメンタルケアをしっかりと行ってほしい」という意見もあった。今後再編を進めていく上で、こうした不安を少しでも解消できるように検討を進めていく。
- ・今回のアンケートでは、A案、B案以外の望ましい再編案として代替案の選択肢を設けたが、代替案のうち、小学校から大規模校へという再編を望まれる方は12人、5.5%という数字であった。第3回の検討委員会でも説明したが、教育委員会としては小学校段階では地域の自然、歴史、文化、産業等を北部地域の方々から学び、豊かな体験

を積み重ねることで興味・関心の幅を広げていくことが大切であると考えている。今回のアンケート結果も踏まえ、再編方針のとおり、「東小と知波田小を統合し、湖西中は岡崎中に統合する」A案、または「小中一体型として、東小、知波田小、湖西中を統合する」B案のいずれかで検討をお願いしたいと考えている。

<質問①> 今回のアンケートは、将来的に東小と知波田小を合わせても単学級になるということを示してアンケートを実施しているのか。

<回答①> 配布した資料の中に、今後の児童生徒数の推移として、提示している。

2 「望ましい再編案」について

- ・ 検討委員会で望ましい再編案について検討する際の補足的説明を行う。
- ・ 学校教育施設適正化検討委員会の報告書に記載されている湖西市の望ましい教育環境では、中学生については、1学年の生徒数は30人以上、1学年の学級数については2学級以上、できれば3学級が望ましいとしている。
- ・ 学校再編した場合のバス通学、自転車通学対象児童生徒数の想定人数を算出した。小学校は3km以上、中学校は6km以上の場合をバス通学、中学校で2km以上の場合は自転車通学として算出した。3km、6kmは、あくまでも現時点でA案、B案を比較する中での参考距離である。どの距離まで対象にするかは今後検討を進めていく。A案の場合、バス通学対象は小学校22人、中学校10人、自転車通学対象は中学校121人。B案の場合、バス通学対象者は小学校22人、中学校0人、自転車通学者は中学校94人。
- ・ バス通学にかかる概算費用も算出した。A案は中学生10人の分、若干高くなるが大きな差はないため、概算費用はA案、B案ともに年間で約4000万円と試算した。
- ・ 校舎改修にかかる概算費用も算出した。A案は小学校（湖西中の改修）と岡崎中の改修で合計約14億円、B案はA案の改修よりもかなり大掛かりな改修が必要になるため約23億円と試算した。

<質問②> 小中一体型でよくあるのは小学校も中学校も統合し、校長も1人、全職員が一緒という形だが、今回は別々で考えているのか。

<回答②> 校長、教頭が1人、義務教育学校という形ではなく、現在は小学校、中学校それぞれに校長、教頭がいて、施設は一緒の小中一体型を考えている。

<質問③> 移行期間はどれぐらいか。

<回答③> アンケートで示した通り、どちらの案も令和10年と最短を想定していたが、小中一体型については、工事等を考慮すると令和11年になる可能性もあると考えている。

<質問④> 再編の費用は湖西市の公費で払われるのか、それとも助成金などが出るのか。

<回答④> 基本的には市の単独事業と考えているが、今後、補助メニューがあるのかについても検討していく。

<質問⑤> 14億円と23億円と聞くと驚くが、例えば再編に必要な経費はこれだけだが、再

編で削減される経費があり、トータルでこうなるという数字は出せないか。

<回答⑤>東小、知波田小、湖西中がそれぞれ現状のまま残した場合との比較のシミュレーションを行っており、当然学校数が少なくなるので、かかるコストも下がるという結果は出ている。

【委員長より】

委員から一人ずつ、A案、B案についての意見をいただきたい。

【委員より】

自身が通っていた当時の湖西中学校は学年で250人、全学年で700名以上、50人の学級で5学級だった。当時、運動場が非常に狭いと感じた。そこに小学生が入り、遊具を置くとなるとグラウンドがさらに狭くなるため、B案の小中一体型は難しいと思う。ただ、小中一体型のよい面は多数ある。小さい子は上の子に親しみを持つし、上の子は下の子をいたわるところが育つと思う。逆に学級間競争の問題等、デメリットもある。私の意見はA案に近いと思う。小学校を統合した場合の一つの提案として、老人保健福祉施設のようなものを併設すると、お年寄りからいろいろな経験や技術を学ぶことができると思う。

【委員より】

A案で進めていってはどうかと思う。アンケート結果は僅差だが、通学の問題が最も気にされているので、その辺のことをよく説明し、検討してはどうか。

【委員より】

小学生にとっては小中一貫で中学生の背中を見ながら、いろいろなことを助けてもらいながら、ということは魅力があると思うが、中学生にとってはどうなのだろうかと思う。中学生の3年間で、小さな子の世話をし、思いやりの気持ちを持つのはとても大事な側面だが、中学の3年間でしか成し得ないことは多数あると思う。学校行事や難しい勉強に挑戦する、多くの価値観に触れて自分を形成していく等、中学生には中学生の大事にしなければいけないところもある。非常に迷うが、中学生の成長も大事にしなければいけないということで、A案が望ましいと考える。

【委員より】

私もA案にどちらかという賛成。お互いデメリット、メリットがある中で、アンケートでリードしているのが最も大きいと思う。

【委員より】

人間関係等を考えるとA案。ただ課題については確かに丁寧に行っていかなければいけないと思う。まず通学路のところはしっかりと丁寧に行っていかなければいけない。また、途中で通う学校が変わる生徒についても保護者から考えると非常に不安なこともあるため、対応を丁寧に行っていかなければいけない。

【委員より】

私は人間関係で多くの人と関わって成長してほしいため、中学校からは大きい

学校にという A 案が良いと思う。湖西中を小中一体型にするとグラウンドが小さいと思う。

【委員より】

自分は子どもが低学年、中学年、高学年といるが、上の子が中学校のときに変わった場合のデメリットメリットと、下の子が小学校のときに変わるメリットデメリットが違う。それぞれの案のメリットデメリットを考えたとき、A 案が良いと思った。

【委員より】

北部地区は明らかに生徒数が減ってくるので、義務教育の 9 年間、同級生に同性の子どもたちが 3、4 人しかいないと、将来的に社会性が身に着くのかと不安になるため、せめて中学は多くの友人がいる A 案でお願いしたいと思う。

【委員より】

自分の子どもは 1 クラス 20 人ぐらいの中で過ごしているが、ものすごく活発で、自分の意見を言うような子になっている感じがする。それ故に、中学生になったときを考えると、さらにいろいろな意見や、友人がいたほうが良いと思った。また小中一体型の場合、小学生と中学生が同じグラウンドで遊ぶとなると、怪我をすることもあり得るのかと不安に思うので、小学校、中学校で分けたほうが良いと思い、A 案を推したいと思う。

【委員より】

小中一体型であれば、中学校に上がった途端に急に先輩後輩という関係ができ、変な上下関係もできないと思う。それをとても危惧していて、小中一体型が良いと思いながら会議に参加していたが、他の委員のお話にあったように、中学生の貴重な 3 年間を考えると、できるだけ多い人数の中で経験した方が良いのではないかということで A 案を推したいと思う。

【委員長より】

委員には意見を一人ずつ言ってもらったが、この検討委員会としては、どのような案を出すかというのが本日の議題。委員の意見から、この検討委員会の方向性としては A 案が望ましいとする。最終判断は事務局の判断となるが、当委員会の意見を尊重し検討してもらいたい。ただし、付帯事項として、例えばバス路線や、移行期の問題、湖西中学校にいたる子たちが転校のとき制服はどうなるのか等、様々な配慮すべき事項、細かい点が出てくると思う。そのことについては優先順位をつけながら考え、できるだけ一人でも多くの子どもたちがスムーズに移れるように進めてもらいたい。

以上